



株式会社トクヤマ

個人投資家様向け 会社説明会

(証券コード：4043)

2023年3月11日

CSR推進本部 広報・IRグループリーダー
中野 哲也

— 説明内容 —

1. 概要
2. 主要拠点
3. 沿革
4. 暮らしの中のトクヤマ
5. 事業ポートフォリオ
6. 中期経営計画2025
7. 成長事業の取り組み
8. セメント工場活用による循環型社会への貢献
9. 株主還元について

概要

創立

1918年2月16日（旧社名：徳山曹達）

所在地

東京本部

東京都千代田区外神田1-7-5
フロントプレイス秋葉原

徳山製造所（本店所在地）

山口県周南市御影町1-1

よこた ひろし

横田 浩



▲横田社長。徳山製造所にて撮影

代表者

資本金

100億円 （2022年3月末現在）

従業員数

5,665名
（2022年3月末現在、連結ベース）

連結売上高

2,938億円（2021年度）

証券コード

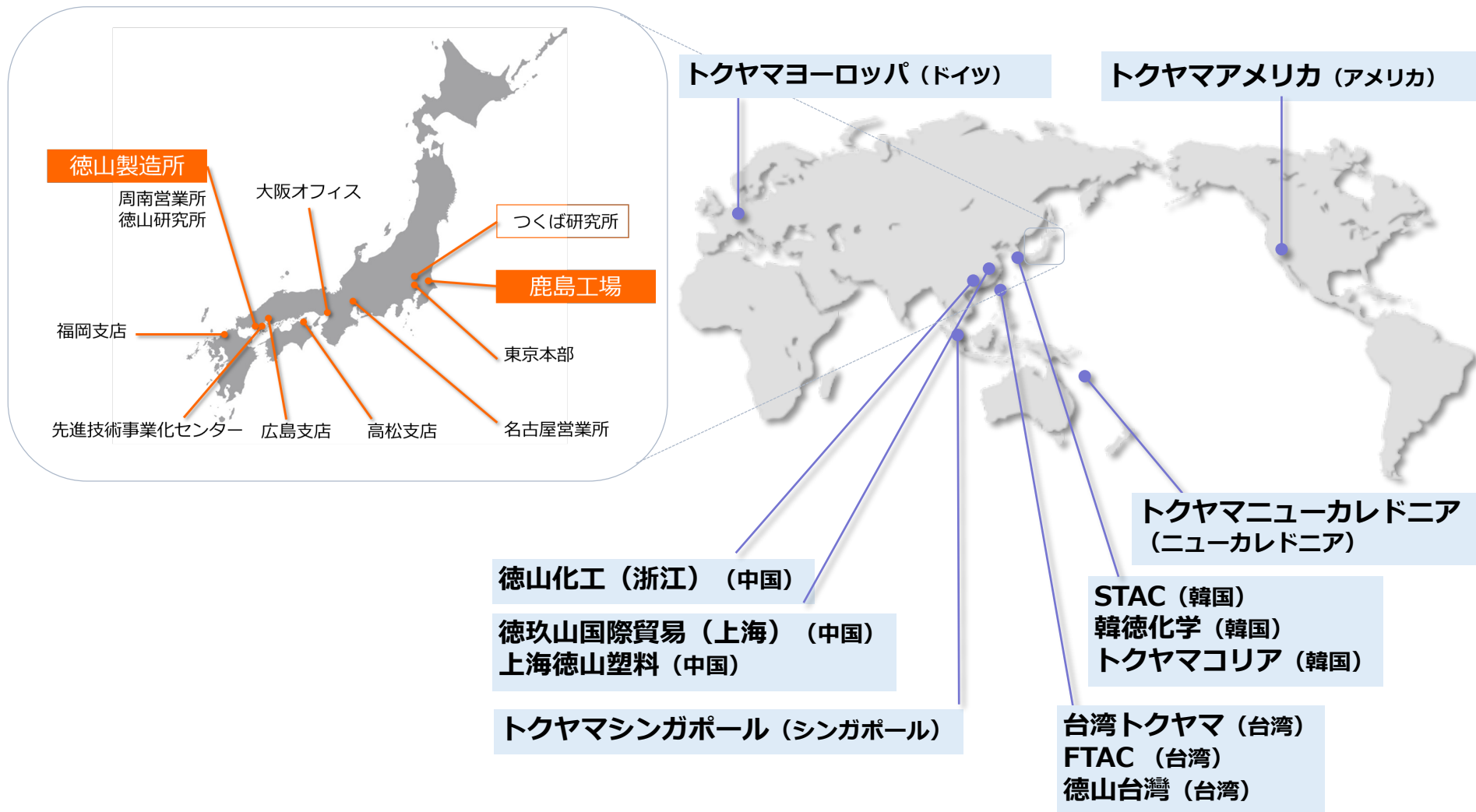
4043（東証プライム／化学）

（2012年9月より日経平均銘柄）
（2019年9月よりJPX日経400銘柄）

株式売買単位

100株

主要拠点



徳山製造所全景 敷地

総面積191万 m^2
(東京ドーム40個分)



東工場 (有機・電材)
102万 m^2

周南バルクターミナル(23万 m^2)

水深14m

公共埠頭

海底トンネル
(1km)

徳山工場 (無機)
61万 m^2

南陽工場 (セメント)
28万 m^2

徳山駅

水深12m

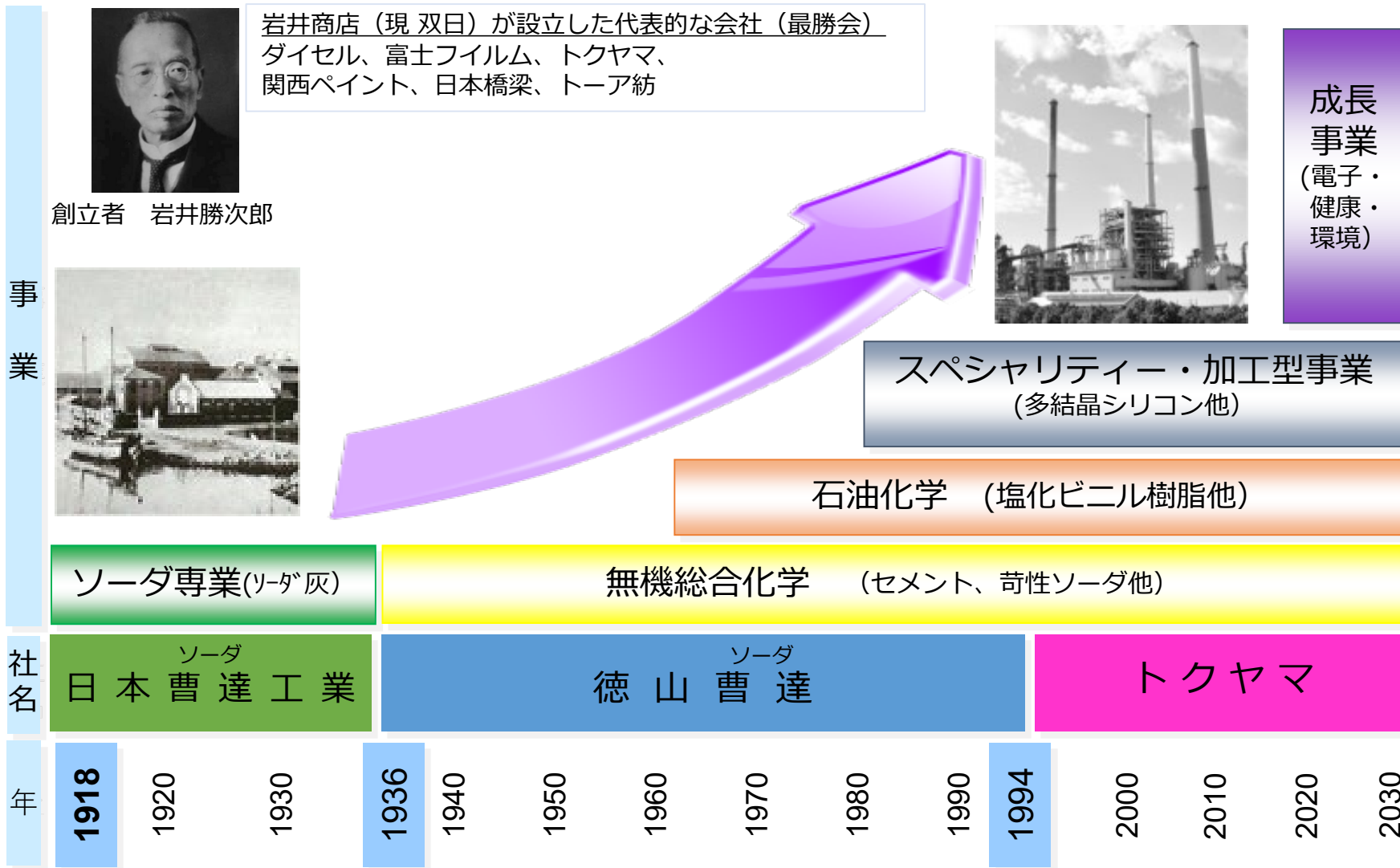
博多方面

所在地：茨城県神栖市（鹿島臨海工業地帯）

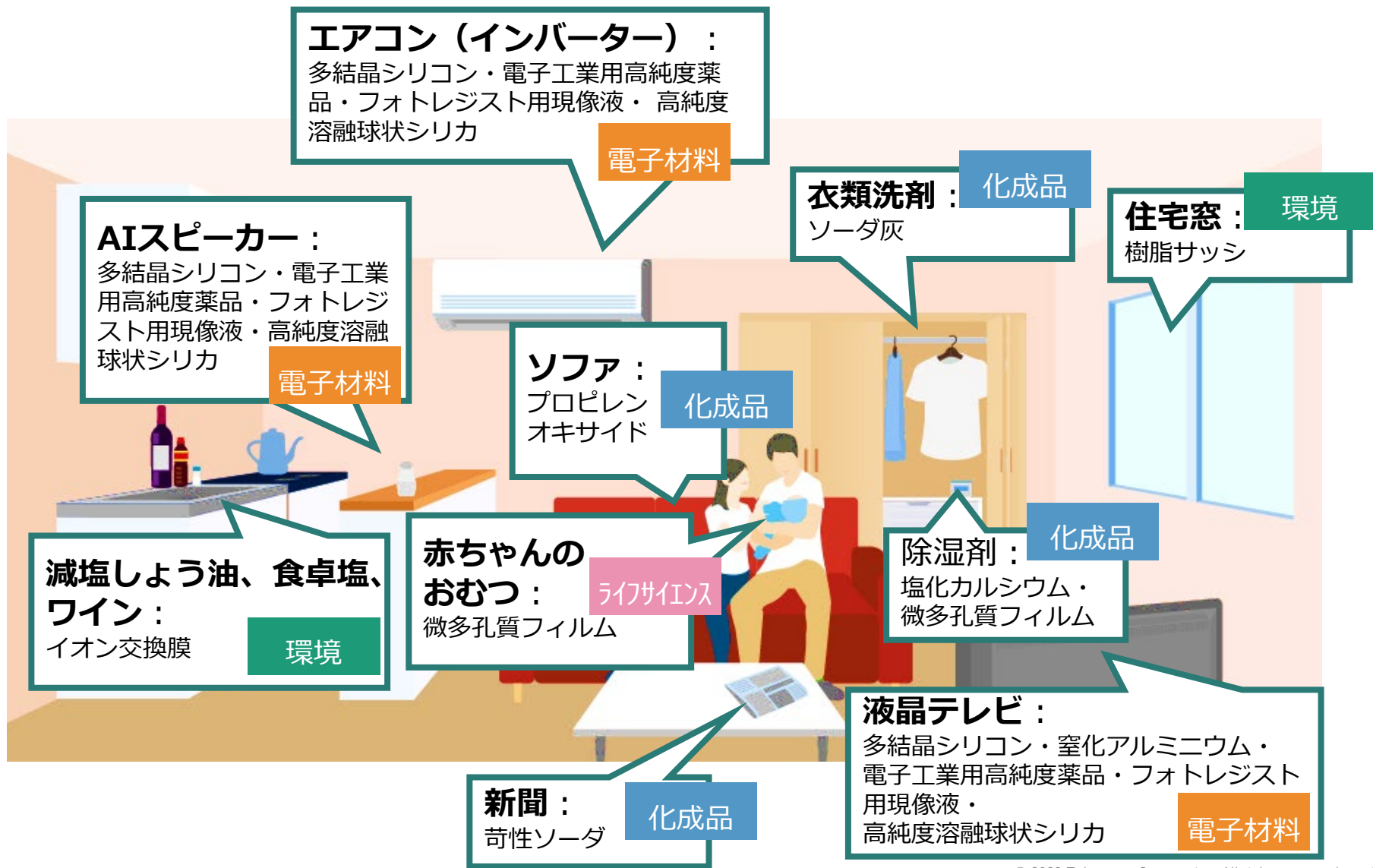
敷地面積：10.1万㎡



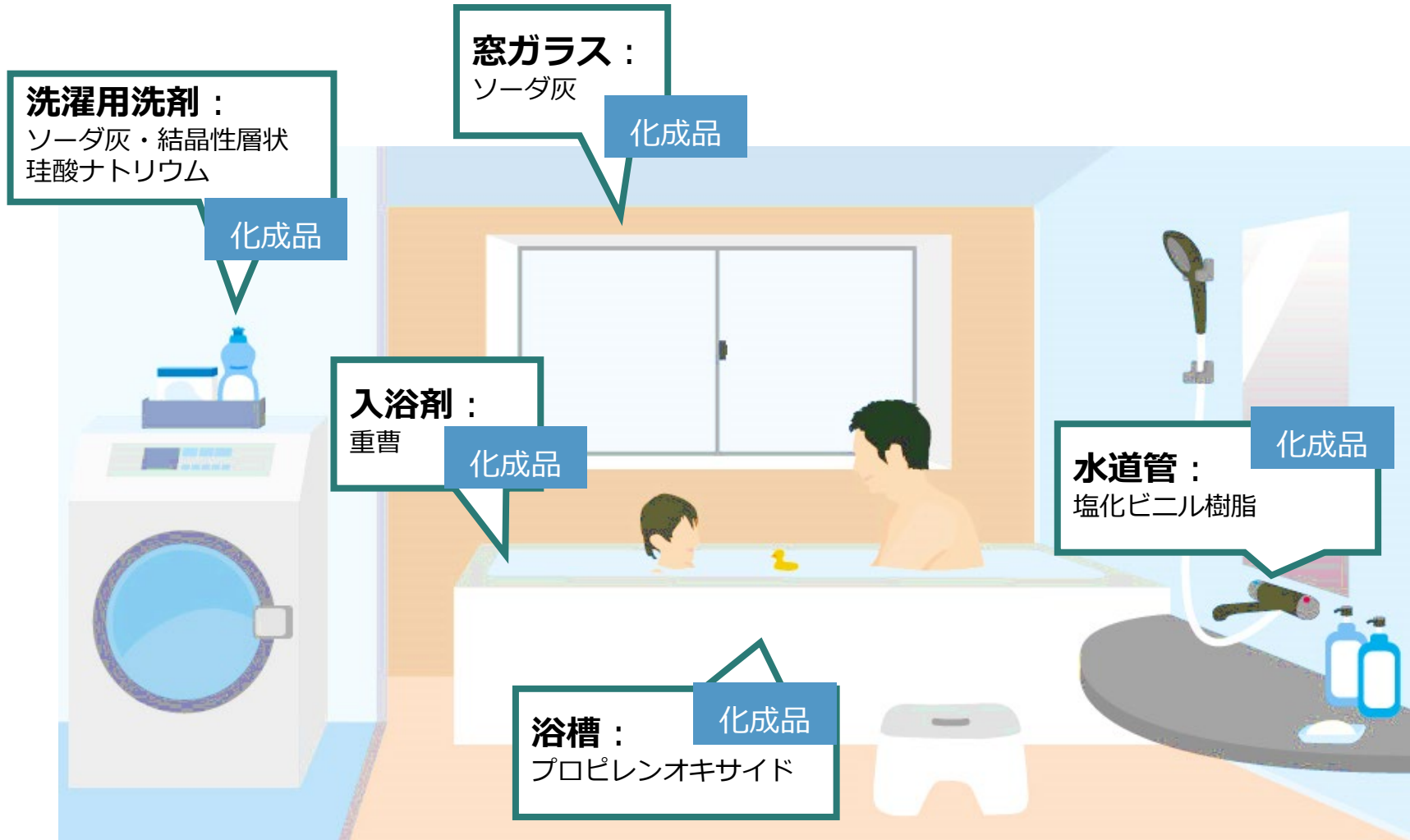
沿革



暮らしの中のトクヤマ



04 暮らしの中のトクヤマ



暮らしの中のトクヤマ

ビル： セメント
セメント・コンクリート

データセンター：
多結晶シリコン・電子工業用高純度薬品・
フォトレジスト用現像液・高純度溶融球状シリカ

電子材料

スマートウォッチ：
多結晶シリコン・電子工業用高純度薬品・
フォトレジスト用現像液・高純度溶融球状シリカ

電子材料

歯医者：
コンポジットレジン
血液検査：
試薬・臨床検査機器・システム

ライフサイエンス

アルミホイール： 化成品
苛性ソーダ
カーナビゲーション：
多結晶シリコン・窒化アルミニウム・
電子工業用高純度薬品・フォトレジスト用
現像液・高純度溶融球状シリカ

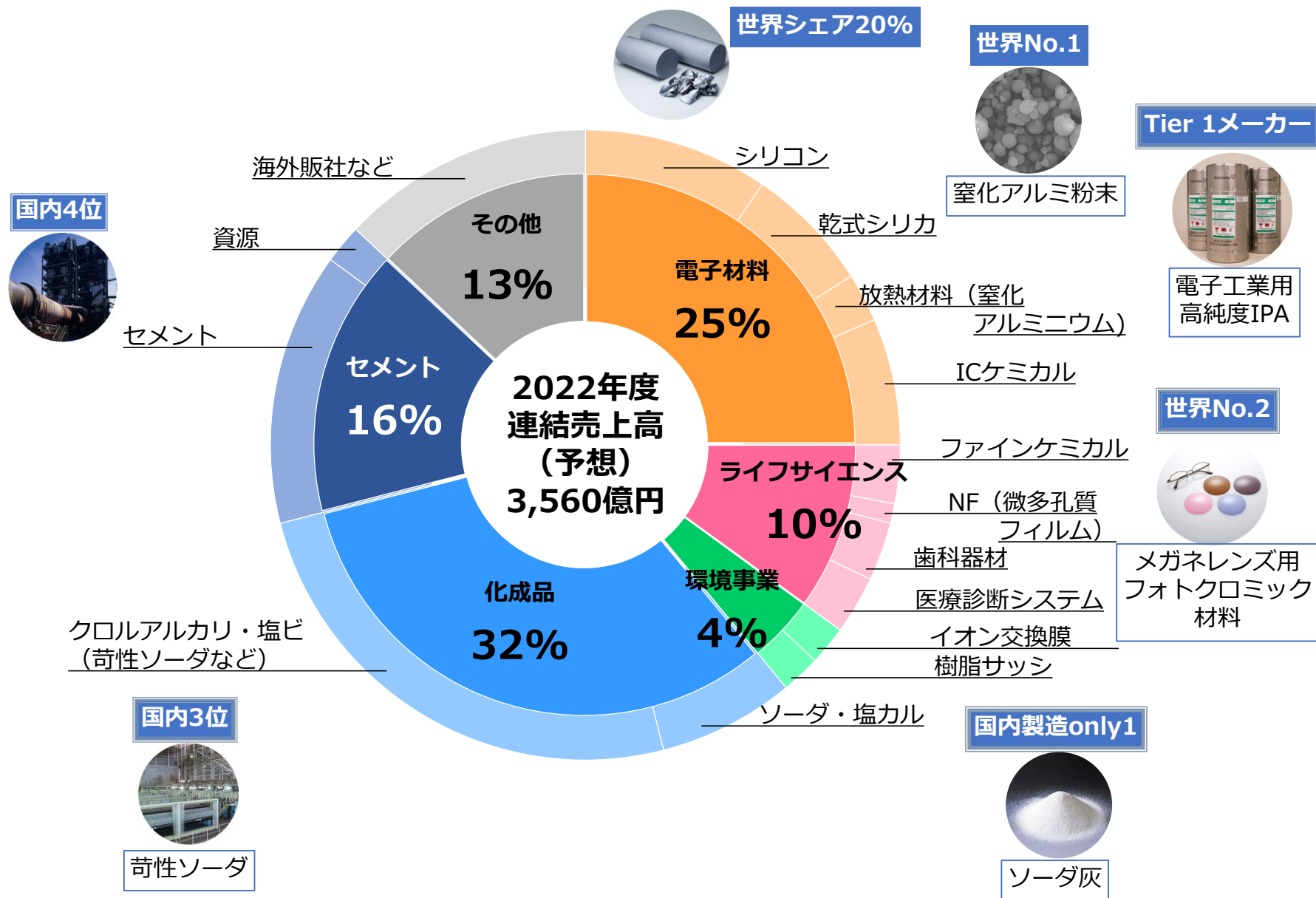
電子材料

スマートフォン：
多結晶シリコン・電子工業用高純度薬品・
フォトレジスト用現像液・高純度溶融球状シリカ

電子材料

めがね： ライフサイエンス
プラスチックめがねレンズ材料

05 事業ポートフォリオ



中期経営計画2025 (2021～2025年度)

トクヤマの存在意義を再定義し、新たなビジョンの実現に向かう

スローガンは “**もっと未来の人のために**”

Mission
経営理念

存在意義

化学を礎に、環境と調和した
幸せな未来を顧客と共に創造する

Vision
経営方針

ありたい姿

- ・マーケティングと研究開発から始める価値創造型企業
- ・独自の強みを磨き、活かし、新領域に挑み続ける企業
- ・社員と家族が健康で自分の仕事と会社に誇りを持てる企業
- ・世界中の地域・社会の人々との繋がりを大切にする企業

Values
行動指針

価値観

- ・顧客満足が利益の源泉
- ・目線はより広くより高く
- ・前任を超える人材たれ
- ・誠実、根気、遊び心。そして勇気

中期経営計画2025 (2021～2025年度)

1

事業ポートフォリオ の転換

成長事業の
連結売上高比率50%以上

2

地球温暖化防止 への貢献

次世代エネルギーの
技術開発を加速、事業化
2030年度にCO₂総排出量30%削減*

3

CSR経営の推進

「ありたい姿」実現に向け、成長の
土台となるマテリアリティへの
取り組みを強化

* 基準年2019年度

中期経営計画2025 (2021～2025年度)

指標	2020年度 (実績)	2021年度 (実績)	2025年度 (計画)	達成に向けたポイント
売上高 (収益認識基準適用)	2,592億円*	2,938億円	3,200億円	ポートフォリオ転換も成長維持
営業利益	309億円	245億円	400億円	高収益事業の強化、拡大
成長事業の 売上高成長率	—	19.9%	CAGR 10%以上	研究開発強化・国際展開加速
ROE	13.2%	13.2%	10%以上	株主資本効率と財務基盤の両立

※前提条件：為替レート 105円/US\$ 国産ナフサ 32,500円/kℓ * 「収益認識に関する会計基準」等の影響額を加味した参考値

中期経営計画2025 (事業ポートフォリオの転換)

成長事業の連結売上高比率50%以上

2025年度に向けた方針

**成長事業を「電子」「健康」「環境」に再定義し、組織化
強力に推進・成長**

**化成品事業・セメント事業は効率化を進め、
持続的なキャッシュを創出**

重要課題と施策

技術

社外との連携強化による技術の差別化を促進し、付加価値を追求

効率化

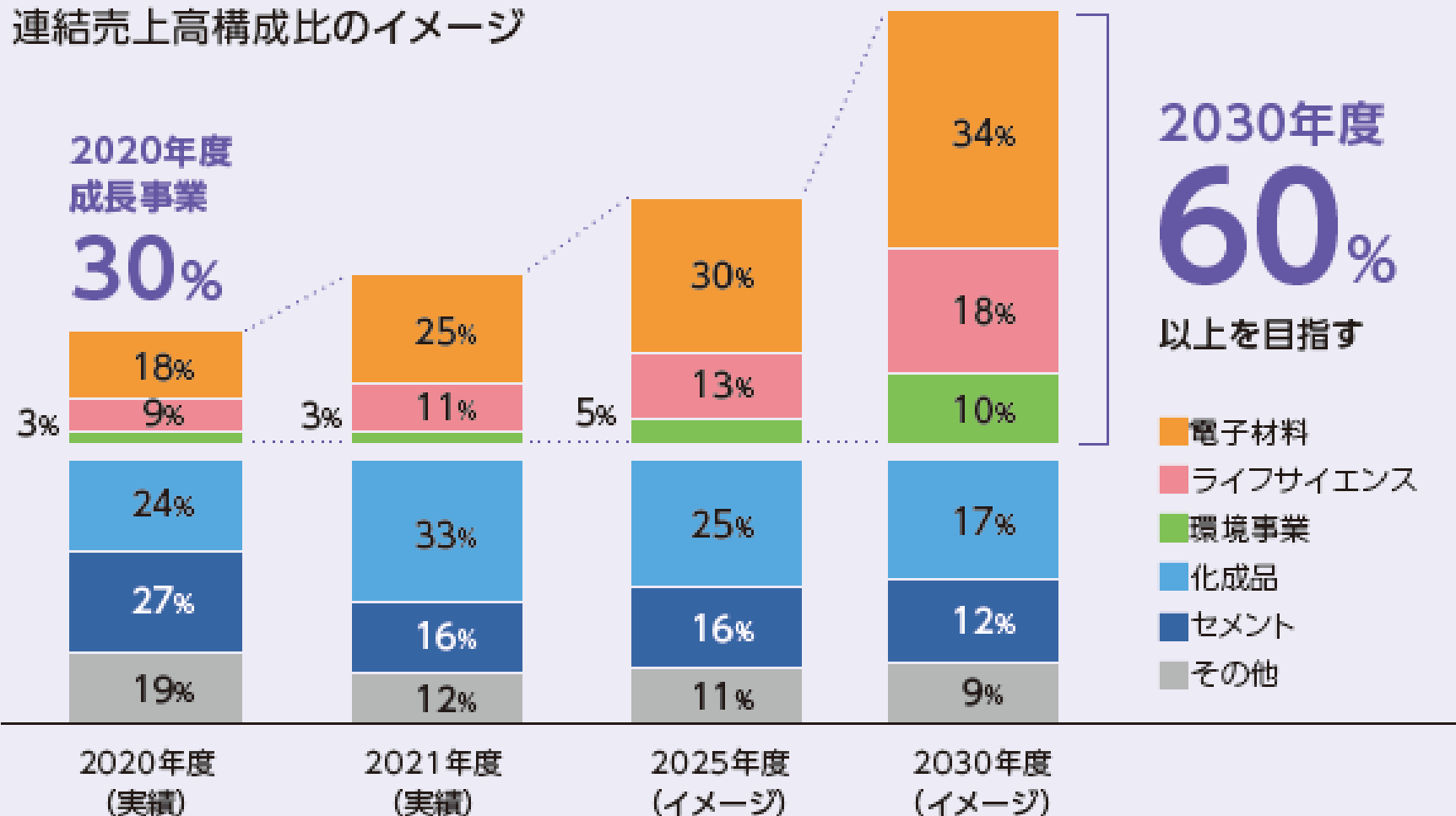
DX推進などにより、全社規模で効率的なオペレーションを追求

国際展開

成長する海外市場における事業拡大を推進

中期経営計画2025 (目指す事業ポートフォリオ)

連結売上高構成比のイメージ



中期経営計画2025 (地球温暖化防止への貢献)

次世代エネルギーの技術開発を加速、事業化
2030年度にCO2総排出量30%(200万トン^{*})削減

削減対象

^{*}基準年2019年度：約676万トン

2050年度カーボンニュートラルに向けた取り組み

エネルギー起源

自家発電

▶ CO2排出量ゼロ（2030年度に50%削減を目指す）

原料起源 (石灰石)

セメント

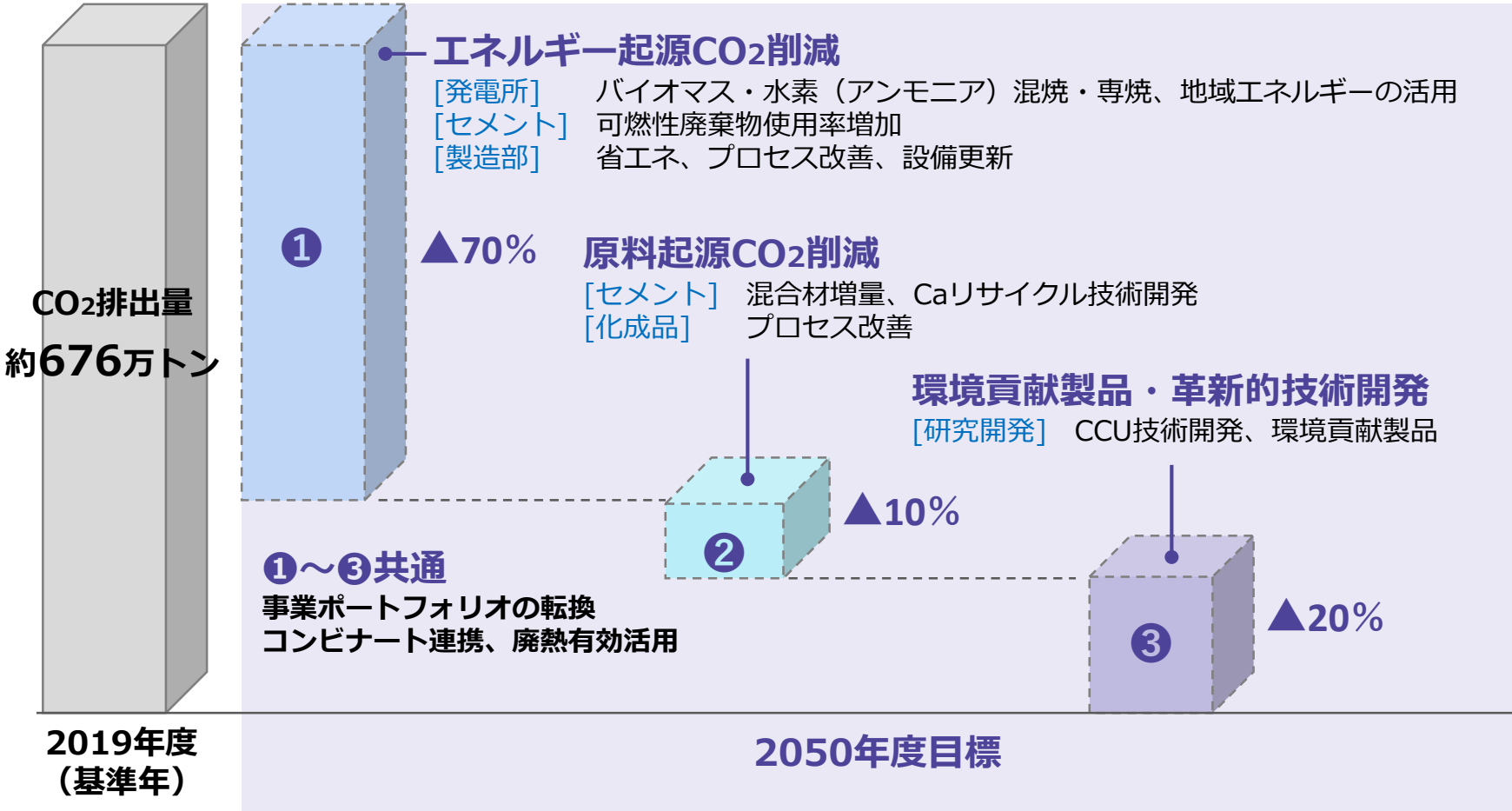
▶ 石灰石使用量の低減を検討中

化成品

▶ CCU技術や環境貢献製品の使用など
オフセットの可能性を検討中

中期経営計画2025 (地球温暖化防止への貢献)

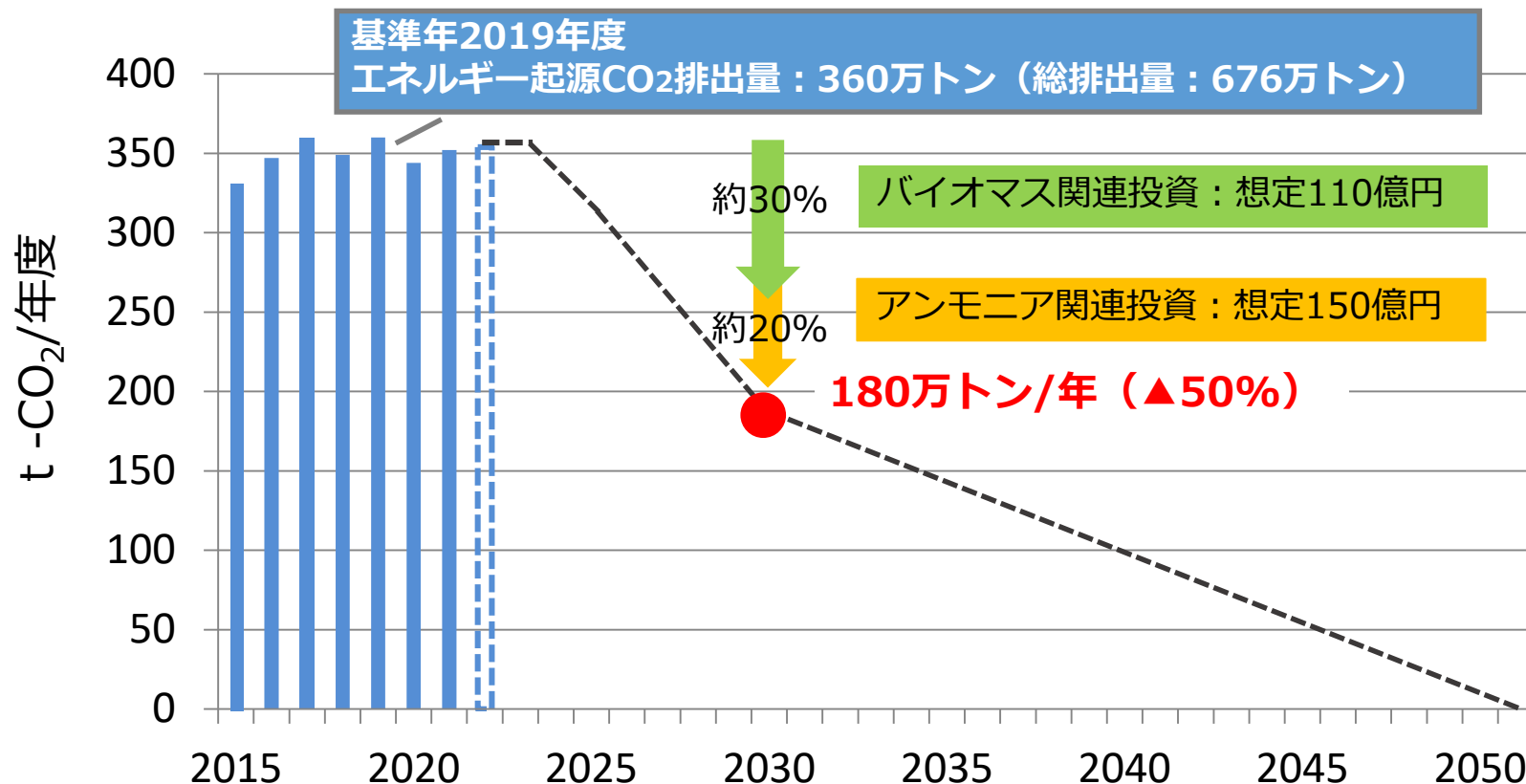
原燃料の脱炭素を目指すとともに、
環境貢献製品の開発・実装によりカーボンニュートラルを達成



中期経営計画2025 (地球温暖化防止への貢献)

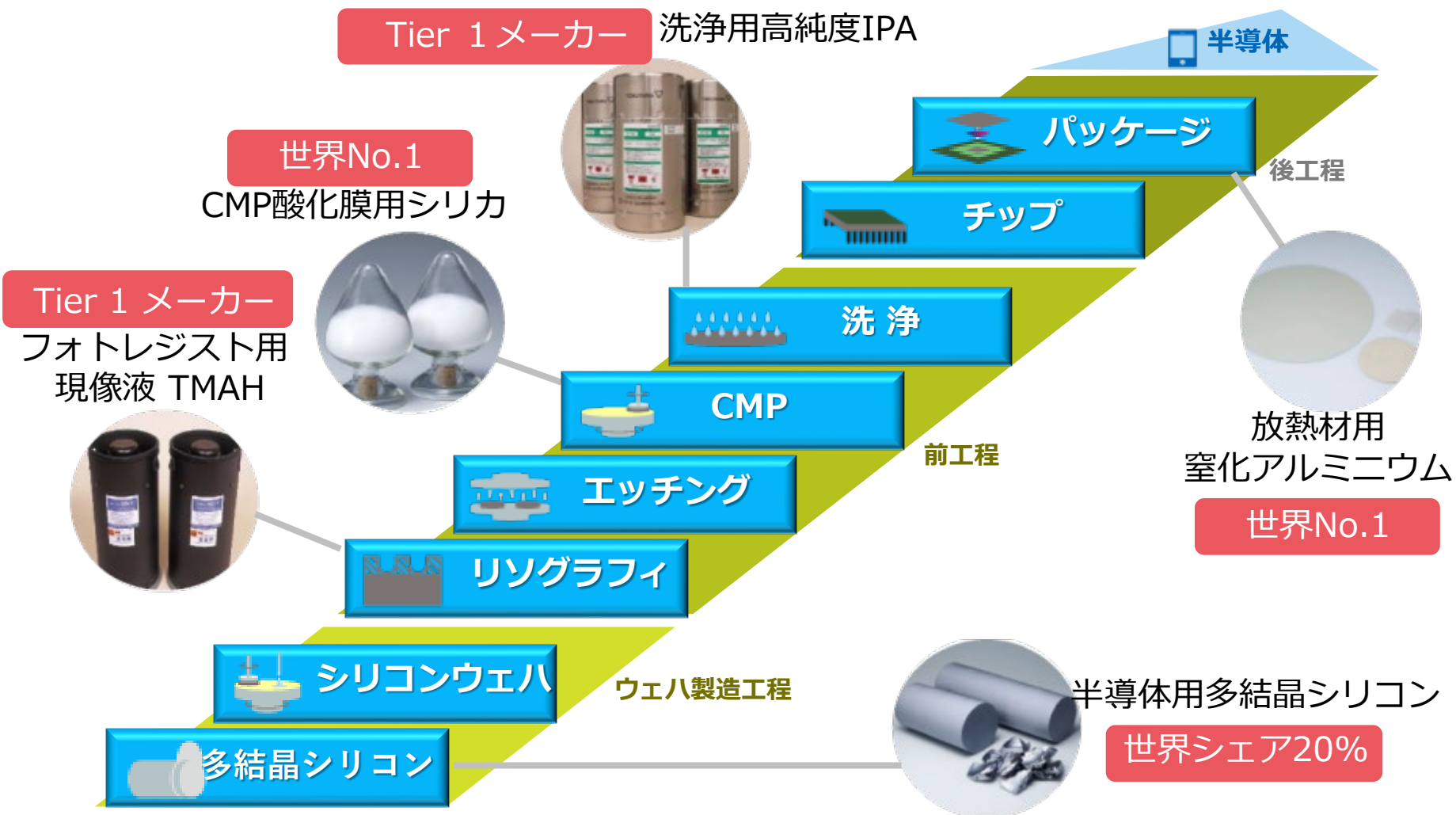
エネルギー起源CO₂排出の削減計画

- 2022年度の排出見込みは2021年度排出量並み（2019年度比▲26万トン）
- バイオマス・アンモニア関連の投資を進め非化石燃料使用の増加により、2023年度以降から本格的にCO₂排出量削減
- 将来想定されるカーボンプライシングとCO₂削減投資の経済合理性で柔軟に対応



成長事業の取り組み（電子）

半導体関連製品

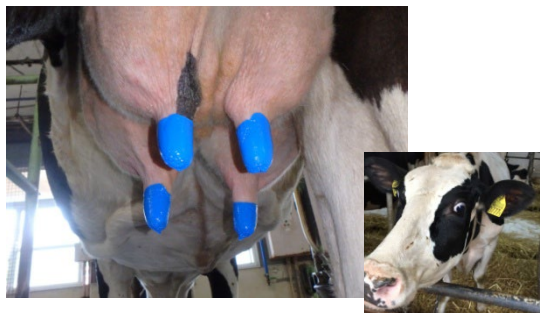


成長事業の取り組み（健康）

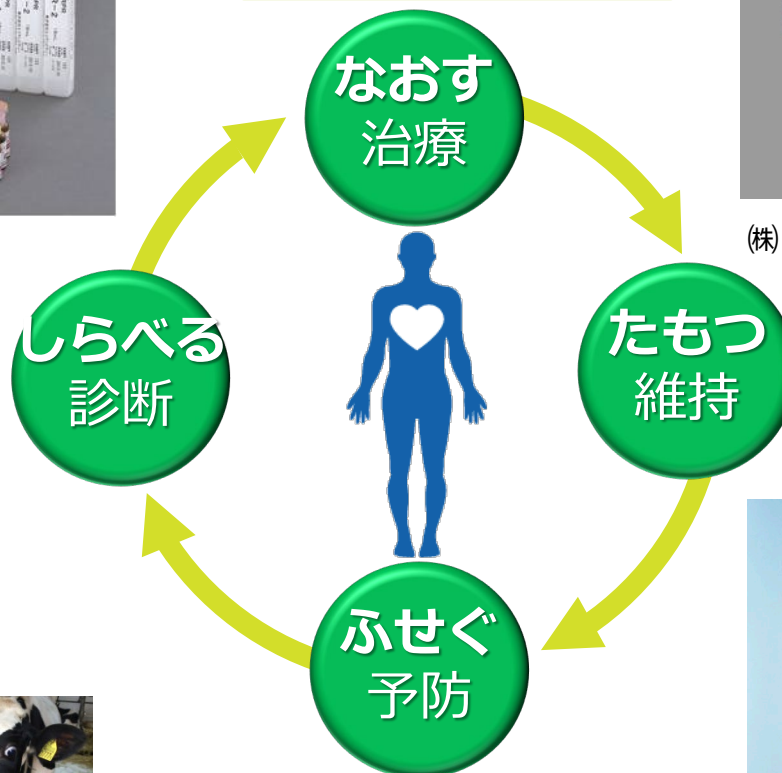
ヘルスケア関連製品



- 医療診断システム
- 臨床検査試薬
- 動物医療周辺材料

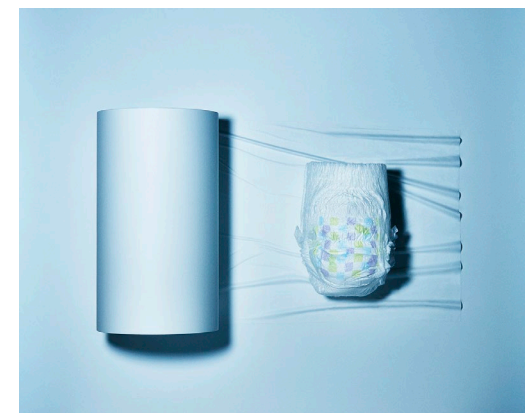


- 歯科材料
- 医薬品原薬・中間体



(株)トクヤマデンタル「オムニクロマ」
(歯科充填用コンポジットレジン)

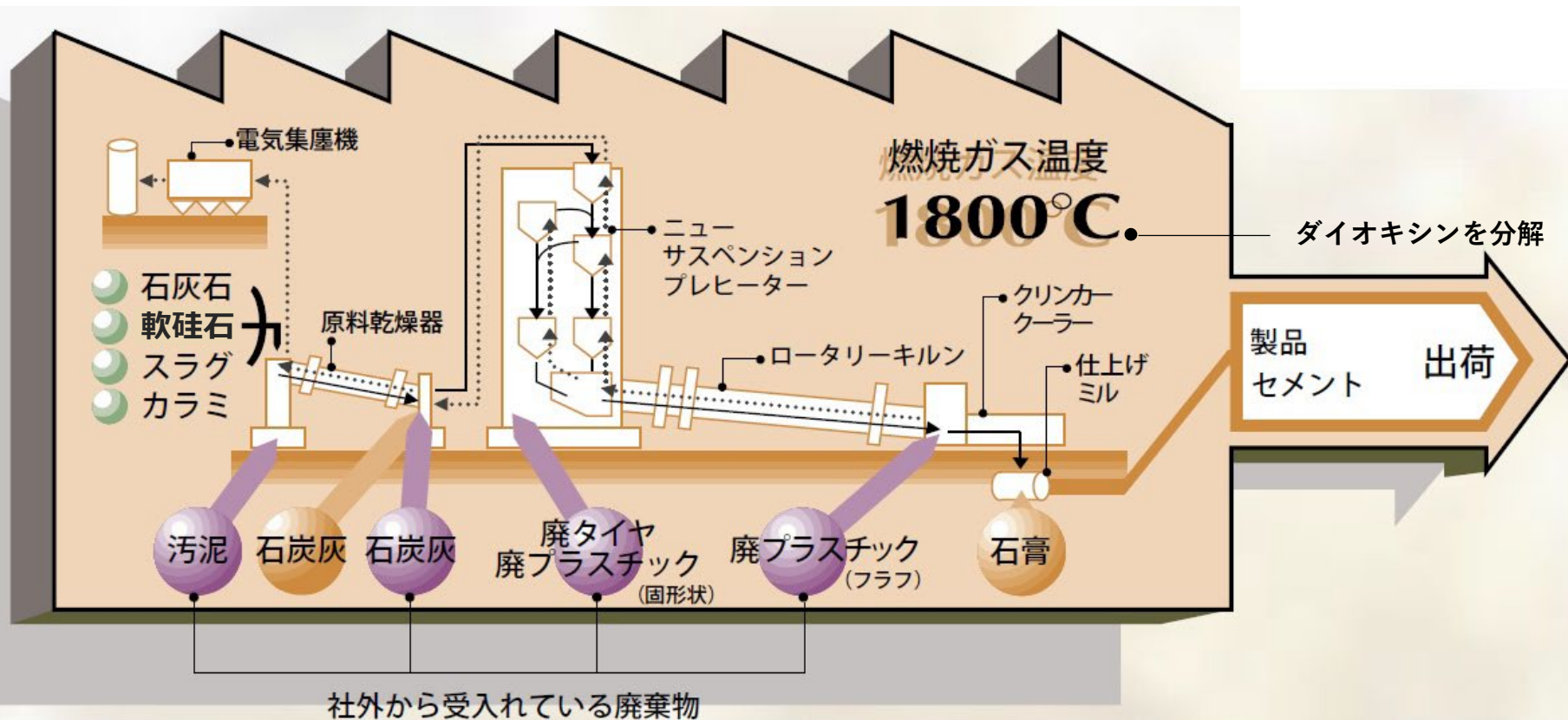
- 微多孔質フィルム
(紙おむつ材料)



- フォトクロミック材料
- 乳牛の乳頭保護材
- サプリメント

セメント工場活用による 循環型社会への貢献

セメント製造の工程で廃棄物を原料の一部として受け入れて利用することにより、循環型社会の実現に貢献しています。



廃棄物・副産物 177万トン

(参考) 令和元年台風第15号・第19号 発生災害ごみ: 174万トン

09 株主還元について

- ◆ 安定的な配当性向（20-30%）と配当金額を意識
- ◆ 将来的には自己株取得も検討

剰余金の配当は、3月末日及び9月末日の最終の株主名簿に記載された株主の方を対象に実施しています。

年度	2017	2018	2019	2020	2021	2022
中間配当金（円）	10.0	25.0	35.0	35.0	35.0	35.0
期末配当金（円）	20.0	25.0	35.0	35.0	35.0	(35.0)
配当性向（%）	11.5	10.1	24.4	19.9	18.0	(42.0)

（注1） 2017年度期末配当金には100周年記念配当10円を含む

（注2） （）内の数値は予想値

もっと未来の人のために

TOKUYAMA 

補足資料 (当期業績予想)

業績予想（2022年度）

連 結

※2023年1月31日公表

売上高

3,560億円

前期比

+ 21%

営業利益

180億円

前期比

△27%

親会社株主に帰属する

当期純利益

120億円

前期比

△57%

売上高営業利益率

5.1 %

1株当たり当期純利益 (EPS)

166.78 円

補足資料 (業績推移)

連 結

売上高 (億円)

利益 (億円)

